

ぼくがおもったこと

石垣市立真喜良小学校一年 星加 倫大朗

そしたらまいにちがたのしいよ。
うれしいよ。

あしたもみんなとえがおであえるよ。

ぼくはいちねんせい。

はじめてさくぶんをかきます。

せんそうについてのさくぶんです。

おにいちゃんがいちねんせいのとくにしょうをもらいました。

ぼくはすごいなとおもいました。

どういうことかわからなくて、としよかんでほんをかりておべんきょうしたそうです。

ぼくもせんそうについておにいちゃんとおねえちゃんといっしょにかんがえました。

「せんそうってわかる？」

「ひとがいつばいなくなったこと？」

「たのしくないこと。」

「こわいし、かなしいこと。」

「せつたいにはいけないこと。」

たくさんおしえてもらいました。

「とちゅうでやめればよかったのにね。」

「ごめんね」ってことばがいえなかったのかな。

ころろはいつていたかもしれないね。

みんながころろをひとつにしたらきつとせんそうはやくおわっていたのかもしれないね。

ぼくはみんなとたのしくあそびたいな。

だからころろのなかじゃなくて、ことばにしてみたえたいとおもったよ。

「ごめんなさい」「や」「ありがとう」「のことばを。」

ゆうきをだせばみんなもきつといえるはずだよ。